

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（基幹型）



労働者健康福祉機構 **新潟労災病院**

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

FAX：025(544)5210

ホームページ：http://www.niigatah.rofuku.go.jp

市民公開講座にカール・ベクス氏を御招きしました

副院長 小池 宏

7月19日に開催されました、第52回市民公開講座の講師として、カール・ベクス氏を御招きしました。当初は5月に予定されていたものでしたが、準備の不手際で当日になって延期せざるをえないことになってしまい、御集り下さった方々には御迷惑をおかけしてしまいましたこと、ここに改めましてお詫び申し上げます。いつもは医療に関するテーマで開かれてきた市民公開講座でしたが、少しは変わったこともいいのではと思います、講演を御願いしたところ、快く引き受けて下さり実現に至りました。今回は平田雅子栄養管理室長による、「腎臓にやさしい食生活 - まずは減塩から」という講演に続いて、カール・ベクス氏が登場して「古民家再生と田舎暮らし」というテーマで御講演下さいました。

さて、いつもは「カール」とか「ヒロシ」とか呼び合っている間柄ですので、カールに「氏」を付けるのは少し違和感があり、以後はカールと書かせていただきます。まずは、カールとの馴れ初めですが、私がこの病院で働き始めて間もない2002年の秋に、カールが当院のドック検診を受診したことに始まります。ドイツ人が来ているということ、私に知らせてくれた人がいました。勿論、どんな人かはまったく知りませんでしたが、ドイツとかドイツ人と聞いて、会って少し話してみようと思いました。私は1990年8月から3年ほどドイツで暮らしたこともあり、難しくない日常的なことはドイツ語で話すことができましたので、まずは簡単な挨拶から始まりました。建築デザイナーであること、今は十日町市になってしまいましたが、松代（まつだい）で暮らしていることなどを知りました。カールもドイツ語を話す変な日本人に、少し興味を持ってくれたようでした。この時はそれほど時間も取れなかったため、一度家に遊びに来て話そうということになりました。そして、それから間もなく奥さんのクリスチーナを



伴って、家に遊びに来てくれました。ビールやワインを飲みながら、いろいろと話したのですが、カールが日本人の多くが忘れてしまったか、もしくは忘れかけているものを、非常に大事にしてくれている素晴らしい人だとすぐに分かりました。

それからはお互いを行き来し合って、年に数回は会って飲むという間柄になっています。大きな体ですので、お酒は相当飲みますが何でも好き嫌いなく食べてくれて、いつも陽気でいろいろな気遣いのできる人で、話していて楽しく飽きることはありません。仕事は主に古民家を再生している建築デザイナーですが、その活動はそれだけに止まりません。松代の旧街道の街並みを、殺風景なトタン板からピンク色のベンガラの壁に取り換えたり、過疎の進みつつあった竹所地区に何軒も家を建てて、たくさんの人々を呼び寄せています。壊してしまうことになっていた古い旅館を譲り受けて再生し、人々が集まることのできる場所に作り替えました。地区の行事にも積極的に参加して、人々に竹所で暮らす喜びを与えています。地区の人々から田んぼを借りて、手伝ってもらいながらですがコメ作りもしています。クリスティーナも女性たちを集めて英会話教室を開いて、地区に溶け込み交流を深めています。ここでその素晴らしさを書き尽くすことは到底できませんが、何から何まで凄いなと感心させられてばかりです。

今回の講演の最後にカールは、日本のさまざまな伝統文化は宝石のように貴重で大事なもので、決して忘れたり捨ててしまわないようにしないと結びました。このことを肝に銘じようと思ったのは、おそらく私だけではなく、会議室だけでなく会議室に入り切れず廊下でお聴き下さった方々の中にも、きっといらっしゃると確信しています。

さらに詳しくカールのことを御知りになりたい方は、どうぞカールのホームページ (<http://www.k-bengs.com/>) を御覧ください。



よろしくお願ひします！（新任医師自己紹介）

内科副部長 古 塩 純



7月から関川医師の後任として赴任しました内科の古塩純と申します。2009年にも半年ほど当院に勤務させていただいたことがあります。その後、新潟大学医歯学総合病院、県立中央病院への勤務を経て、このたび縁あって再び新潟労災病院で仕事をする機会をいただきました。呼吸器内科を専門としていますが、呼吸器内科・内科全般の診療を通じて地域の患者様、またスタッフの皆様のお力になればと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

当院における肺癌治療について

呼吸器外科部長 岩 浪 崇 嗣



肺癌の治療は現在でも困難な状況です。1980年代に悪性新生物が全死因のトップとなり肺癌に関しては2000年には全悪性新生物における死因のトップであり続けている状況です。また、肺癌の罹患率（がんにかかる割合）も上昇を続けています。治療成績に関しても生存率（あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標）は2003年～2005年の統計で男性では、肺癌は25%。対して胃癌は64.2%。女性では、肺癌は41%。対して胃癌は61.5%と他の癌よりも治療成績が不良な状況です。肺癌の特徴として、全身転移が起こりやすいことが挙げられます。しかし、早期に発見することで、手術治療が行われたstage IAの5年生存率は80%を超えます。これは、がんの治療における早期発見の重要性を示唆しております。現在、検診では胸部レントゲンによる肺癌検診を行っていますが、当院では、低被爆である低線量CTによる肺癌検診を導入しております。早期に発見することで、多くの患者さんを救いたいと考えています。

当科では全人的な医療を目指し、呼吸器内科・外科、放射線診断医・治療医、病理診断医と連携をとりながら治療を行っております。外科治療に関しては、胸腔鏡手術が導入され、全国に普及しています。当院でも以前では20cm程度の創が、約5cm程度となり、全国の病院で研修を行い、習熟に努めることで、手術時間の短縮・出血量の減少が図れました。術後の早期回復、早期退院が可能となり、手術から1週間程度で退院となっている状況です。疼痛などの合併症の頻度も減少し、早期な社会復帰が可能となりました。また、高齢者に対しても低侵襲なため手術適応が拡大しています。内科治療に関しては、抗癌剤・分子標的治療薬の目覚ましい進歩が挙げられます。手術困難または再発に対する治療の奏効率・生存率ともに改善しております。個別化治療が行われ、遺伝子検索を行うなど、個々の患者さんに応じた治療を行っております。

肺癌の治療は現在でも困難な状況ですが、それを改善すべく、多くの研究会に参加することで、日々進歩する医療に対する最近の知見を取り入れ、より良い医療の提供を目指し、新潟労災病院呼吸器外科一同、日々努力しています。

お電話での予約日時変更について

やむを得ず予約日時を変更される場合、午前中の外来は大変混雑しますので、お電話は午後1時～午後4時にお願いたします。（土曜・日曜・祝日の受付は行っておりません。）また、ご希望の日時にご予約できない場合もございますので、予めご了承をお願いいたします。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域の急性期医療に貢献します”



新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 地域の急性期医療を担当する高機能病院として、救急医療を行います。
4. 働く人の健康を守ります。

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
 - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
 - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
 - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
 - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

急募 嘱託理学療法士及び作業療法士を募集しています

人間ドック／がん検診のご案内

New!

☞ これまでがん検診を受けたことのない方へ、

アミノインデックスによるがんリスク判定のおすすめ (次頁コース⑩参照)

1回の採血で、多数のがんの疑いを同時に判定します。(肺・胃・大腸・前立腺・乳・子宮・卵巣がん)

疑いがあれば、次にそのがんに応じて精密検査を受けていただくことになります。肉親にがん患者のいる方に、とくにおすすめします。

New!

☞ 肝胆膵など腹部の超音波検査を単独でお申し込みいただけます。

前立腺・子宮と大動脈とのセットです。(次頁コース⑤)

- ・ 便潜血検査は、大腸がん検診です。内視鏡なら、さらに確実です。(次頁コース④)

1日ドック(税込み) お食事券付

基本コース	がんと生活習慣病の一般コース、男女共通	43,740円
男性コース	基本 + 前立腺がん検査(PSA検査)	45,576円
女性コース	基本 + 乳がん検査(視触診+マンモグラフィ) 乳腺エコー検査(3,672円)を追加できます。	50,004円
	基本 + 子宮がん検査(内診+細胞診+子宮卵巣エコー)	48,060円
	基本 + 乳がん・子宮がん検査 乳腺エコー検査(3,672円)を追加できます。	54,324円

基本コース検査項目 (特定健康診査の項目をすべて含む。■は、がん検診です。)

身体計測	身長 体重 体脂肪 骨格筋量 腹囲 BMI
眼と耳の機能	眼底 眼圧 視力 聴力
生理機能	胸部X線 呼吸機能+肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液 (肝腎機能・血糖・脂質・血球・炎症反応)	総蛋白 アルブミン AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) ALP 総ビリルビン 尿酸 クレアチニン eGFR 血糖 HbA1c 総コレステロール 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値 MCV MCH MCHC 白血球数 白血球分画 血小板数 CRP 血液型(初回)
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣
胃内視鏡と便潜血(2回)	
超音波	肝胆膵腎+前立腺・子宮+大動脈
問診 診察	情報提供と説明、指導

検診コースの①～⑩の検査は、ドックにオプション検査として追加することができます。もちろん、がん検診だけでも、いくつかを組み合わせでの実施も可能です。★はドックの各コースに含まれます。

がん検診コース

円(税込)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
①甲状腺	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,100	
②肺	低線量肺がんCT	9,720	
③胃	胃内視鏡 ★		16,200
④大腸	便潜血(2回) ★		1,620
	大腸内視鏡(69歳まで) ドックと別日で実施	21,600	
⑤肝胆膵臓+前立腺 ・子宮+大動脈	超音波 ★		5,724
⑥前立腺	PSA ★男性		1,836
⑦乳腺	視触診(ドック実施時のみ)	乳腺エコーあり	9,936
	マンモグラフィ撮影 ★女性	乳腺エコーなし	6,264
⑧子宮	内診 子宮頸部細胞診 ★女性 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)		4,320
⑨腫瘍マーカー	CEA CA19-9 AFP	3,240	
⑩アミノインデックス がんリスクスクリー ニング検査	男性(胃・肺・大腸・前立腺がん)	20,520	
	女性(胃・肺・大腸・乳・子宮がん)		
	女性(乳・子宮がん)	10,260	

生活習慣病予防コース

円(税込)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑪頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	5,940	
⑫肺年齢	呼吸機能 ★		3,240
⑬骨密度検査	X線	3,780	
⑭内臓脂肪測定検査	腹部CT	3,240	
⑮骨格筋肉量	体成分分析装置(インボディ) ★ (骨密度または内臓脂肪測定とセット実施)		540
⑯睡眠時無呼吸検査	自宅で睡眠時に測定(機器貸出し)	5,400	

その他

円(税込)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑰肝炎検査	HBs抗原 HCV抗体	2,322	
⑱HIV検査	HIV抗体	1,404	

1日ドック・がん検診コース・生活習慣病予防コースは予約制です。

下記①②の方法でご予約下さい。

- ① お電話(ドック健診担当)または医事課0番窓口にてお申し込み下さい。

電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30~16:00

- ② 1日ドック・健診各コース申込書(新潟労災病院ホームページ(<http://www.niigatah.rofuku.go.jp/>)よりダウンロード)に必要事項を記入し、新潟労災病院医事課へ郵送または FAX して下さい。

〒942-8502 新潟県上越市東雲町 1-7-12

新潟労災病院医事課ドック検診担当

FAX 025-543-7110



散歩道



我が家では、子育てがひと段落したこともあり、夏休みを利用して南の島に旅行に行ってきました。6月から10月は雨季なので、以前訪れたときは雨に泣かされましたが、今回は、滞在期間中お天気に恵まれ、よく使われるキャッチフレーズですが「常夏アイランド」を満喫しました。

南の島と言うからには目的はマリンスポーツ、いやいや我々二人にはそんな才能はなく、もっぱらショッピングとグルメにお金を注ぎ込みました。日本にも最近上陸したパンケーキのお店や普段は利用する機会のない有名ホテルのビュッフェでお肉・シーフード・デザート etc.

最近、会話の減ってきた二人も美味しいものを食べているときは不思議と話しも弾みました。普段の生活では夫婦と言っても一緒にいる時間は24時間のうち数時間。一緒に時間が増えお互い感じたことを共有できることが二人旅の醍醐味なのかもしれませんね。

さて、また来年の旅行に向けて積み立てを始めます。

(K. N)